

特別養護老人ホームつかのめの里経営計画

1 経営方針

老人福祉法等の基本理念及び社会福祉法人県央福祉会の基本方針に基づいて、利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、キャッチコピーの“ほっと心が和む里、いつでも聞こえる笑い声”の明るく、楽しく、心が和む、潤いのある施設運営を展開する。

(1) 生きがいのある生活を支える施設サービスの提供

家族との連携を密にし、利用者の意思及び人格を尊重し、個々の能力、生活機能などに応じた施設サービスを提供し、生きがいのある生活が送れるよう努める。

(2) 住み慣れた地域での暮らしを支える居宅サービスの提供

心身の状況及び生活環境などに対応した居宅サービスを提供し、住み慣れた地域での家庭生活が継続できるよう努める。

(3) 地域社会への貢献

利用者、家族、ボランティア及び地域等の理解と協力で、施設サービス機能の一体的な運営を図り、地域に開かれた高齢者福祉の拠点施設としての推進を図る。

(4) 健全な施設経営

健全財政の推進を図ると共に、地域の信頼と期待に応える施設づくり、働きやすい職場づくりに努める。

2 重点事項

(1) 信頼されるより良い施設サービスの推進

① 寄り添った介護

利用者の意思及び人格を尊重し、心の通う寄り添った介護で、家庭生活の雰囲気を生み出すグループケアに努める。

② 利用者の介護と機能訓練の充実

利用者一人一人の立場に立って、家族との連携を密にし、生活歴や心身の状況に応じたケアプランにより、身体機能の回復及び維持を図り、自立した生活が送れるように努める。

③ 利用者の健康管理と楽しい食事

利用者一人一人の身体状況を的確に把握し、嘱託医師及び協力病院との密接な連携で健康管理に努めるとともに、食事には、栄養・嗜好など細やかな配慮をし、おいしく楽しい食事を提供する。

④ 潤いのある生活

生活の中に、外出の機会及び四季の行事又はレクリエーションなどを取り入れ、楽しみながら生活が送れるよう努める。

⑤ 主体性のある居住環境の整備

利用者の主体性を大切にした生活の場として、安心した生活が送れるよう、居住環境の整備に努める。

⑥ 防災対策の充実

火災、地震、風水害、等の非常災害に迅速に対応できる防災教育と避難訓練を実施するとともに、施設設備、機器の点検、保守管理を徹底し、防災安全対策に努める。

⑦ 地域交流の促進

地域、ボランティア及び各種団体との交流を積極的に展開し、開かれた施設運営に努める。

(2) 生き生きとして家庭・地域で生活をするのできる支援の推進

短期入所、通所介護、居宅介護支援などの居宅サービス事業を推進するとともに、配食サービス事業の実施、及び地域密着型サービス事業(小規模多機能型居宅介護施設、認知症対応型共同生活介護施設)と地域包括支援センターの取り組みで、サービス機能の一体的な運営を図り、家庭・地域の中で、明るく、楽しく、生活が継続できるよう努める。

(3) 福祉人材の育成

学生の実習受け入れ、小・中学校の総合学習の授業における受け入れを積極的に行い、将来の福祉の担い手となる人材の一助に努める。

(4) 関係機関との連携

より良いサービスの提供を推進するため、関係市町村、医療機関及びサービス提供事業者などと密接な連携に努める。

(5) 職員の研修、研究活動の推進

質の高いサービスを提供するため、積極的に研修、研究活動を推進し、職員の資質向上を図る。また、目標管理制度を活用し、職員の働く意欲の向上に努める。

(6) 健全な施設経営

サービス提供の基盤となる安定した施設経営を図るため、職員一人一人が常に課題意識と改善を考える経営意識の醸成を図る。また、積極的な情報提供により、事業の透明性の確保に努める。

(7) 施設整備

エコロジー対応にも目を向けながら、安全、快適に過ごせるよう施設整備に努める。